

基準 1 教育プログラムの目的

海外大学との共同教育プログラムの目的が明確に定められ、参加大学の間で共有されているか。

〈優れた取組を抽出する視点の例〉

a) 教育プログラムの目的（育成する人材像を含む）の設定

- 目的に掲げる人材を育成する社会的・学術的な必要性（例えば、東アジア地域等におけるグローバル人材へのニーズ）が、参加大学やその他のステークホルダー間での検討・分析等から明確とされている。
- プログラムの目的が、育成する人材像に求められる知識・スキル・態度等の学習成果を含めて明確に定められている。
- 自大学や参加大学の強み・弱み等を国内外の他大学とのベンチマーク等から検討し、独自性を有するプログラムの目的等を設定している。
- 海外大学との国際的な共同による教育が必要であることが明確な目的となっている。
- 学位授与に至るプログラムの場合には、当該学位が学内で明確に位置づけられ、授与する学位の名称・水準に適合した目的となっている。
- プログラム内で新たに共同学位プログラム等を開設した場合には、上記項目を踏まえて明確な目的設定がなされている。

b) 教育プログラムの目的の大学間での共有

- 参加大学間で共同教育プログラムの目的が共有され、運営するための指針として機能している。
- 教育プログラムの目的が、自大学の目的や国際化戦略の中に位置づけられ、関係者に共有されている。
- 対象となる共同教育プログラムが、学位プログラムの一部分や複数の学位プログラムに横断して関与する共通プログラムである場合には、学位プログラムの目的との関係が明確にされている。

〈段階判定の尺度と説明〉

尺度	各段階の説明
課題が残っている	・ プログラムの目的や育成する人材像が明確に<u>定められていないか</u>、海外大学等との共同プログラムや授与する学位水準に<u>適合していないと言えない</u>。 ・ 目的が設定されていても、参加大学の教職員に<u>認識されていない</u>。
標準的	・ プログラムの目的が育成する人材像を含めて<u>定められており</u>、<u>国際的な共同による教育が必要な目的</u>となっている。 ・ 参加大学間で目的について<u>共通認識</u>がある。対象となる共同教育プログラムが、学位プログラム的一部分や複数の学位プログラムに横断して関与する共通プログラムである場合には、学位プログラムの目的との関係が明確にされている。
進展している	・ プログラムの目的や育成する人材像を、参加大学間での<u>調整のうえで作成している</u>。育成する人材像に期待される<u>知識・スキル・態度等が明確</u>にされている。 ・ 目的は参加大学の教職員および学生に周知され、<u>共通見解</u>となっている。
優れて進展している	・ 目的や育成する人材像等を、参加大学や大学外のステークホルダー等を含めた<u>共同による検討や分析等</u>により明確に定めており、その定期的な見直しが行われている。 ・ 目的は大学間での共同策定によって共有されており、教育内容の形成や実施のための<u>指針として実際に機能している</u>。

※段階判定の尺度の使い方について

「優れて進展している」は、モニタリング実施側が用いる尺度で、特に優れていると認められる取組みについて、モニタリング報告書のなかで「優れて進展している」取組みとしてまとめられます。

したがって、採択プログラムおよびモニタリング実施側においては、それぞれ以下の要領で、採択プログラムにおける質を伴った取組みの構築状況を整理してください。

【採択プログラムの自己分析時】

「進展している」・「標準的」・「課題が残っている」の3段階

※「優れて進展している」と分析される場合も、自己判定としては「進展している」と整理してください。

【モニタリング報告書の取りまとめ時】

「優れて進展している」・「進展している」・「標準的」・「課題が残っている」の4段階